

## 照明管理の実施 ～照明の間引き～

### □現状

検査作業のための照度は手元照明により確保されているため、検査室の天井照明の照度が過大になっている。

### □改善提案

検査室の天井照明(40W 2灯形)の7台のうち1/3を間引く(内、1灯は既に間引いている)。

### □効果試算

削減項目	年間削減量	試算式
電力量	293 kWh/年	879kWh/年×1/3(間引き率)
二酸化炭素量	85 kgCO <sub>2</sub>	292kWh/年×0.294tCO <sub>2</sub> /千 kWh
電気料金	4,088 円	292kWh/年×14 円/kWh(電力平均単価)

### □投資金額(回収年数)

投資なし

### ■効果試算根拠

- 点灯時間：1,920 時間/年＝240 日/年×8 時間/日
- 間引き灯数：13 灯＝2 灯/台×7 台－1 灯
- 電力消費量：879 kWh/年＝40W/灯×13 灯×1,920 時間/年  
×1.1 (安定器補正率) ×0.8 (実質稼働分負荷率)

### □ワンポイントアドバイス

照明管理の他の手法として、「不使用な場所や時間に消灯する」「台数の削減を行う」「全体照明から手元照明へ転換する」等が挙げられる。

### □留意点

作業の場所や作業に応じた照度基準(JIS Z 9110)を考慮し、管理を行う必要がある。



作業区分	基準
緻密な作業	300 ルクス以上
普通の作業	150 ルクス以上
粗な作業	70 ルクス以上

出典：労働安全衛生規則第 604 条